

文中の付表に掲載している計数は、それぞれを原則四捨五入しております。また、金額が損失または減益の場合には、△を付しております。

平成24年5月15日

平成23年度決算発表

三井住友フィナンシャルグループの平成23年度決算についてご説明致します。

お手元には、「平成24年3月期決算短信」と「平成23年度決算説明資料」の2種類の資料をお配りしております。

それでは、「平成23年度決算説明資料」に基づいてご説明いたします。

なお、当資料における【単体】は三井住友銀行の単体計数、
【連結】は三井住友フィナンシャルグループの連結計数でございます。

【三井住友銀行の単体業績】

まず、1頁をご覧ください。三井住友銀行の単体損益についてご説明申し上げます。

表の中ほど22行目の（一般貸倒引当金繰入前）業務純益は、前年比196億円減益の8,130億円となりました。

このうち、1行目に記載の業務粗利益は、国内での資金需要低迷に伴う貸出金残高の減少や、金利低下に伴う預貸金利鞘の悪化等を主因として、資金利益は減少したものの、

海外でのアセット投入によるローン関連手数料の増加や、国内でのシンジケーション関連手数料の増加に加え、前年に引き続き、国内外の金利低下局面を的確にとらえたオペレーションの実施により、相応の債券売却益を計上したこと等から、前年比ほぼ横這いの1兆5,325億円となりました。

18行目の経費は、経常的な経費の見直しによる削減を行う一方、海外を中心とした人員増強や業務拡大に伴うシステム投資等、業務推進に係る経費の戦略的投入を行ったこと等から、前年比203億円増加の△7,195億円となりました。

[三井住友銀行単体]

(金額単位 億円)

		23年度	22年度比	22年度
業 務 粗 利 益	1	15,325	7	15,318
(除 く 国 債 等 債 券 損 益)	2	(13,800)	(△ 46)	(13,846)
経 費 (除 く 臨 時 処 理 分)	18	△ 7,195	△ 203	△ 6,992
業 務 純 益 (一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 前)	22	8,130	△ 196	8,326
う ち 国 債 等 債 券 損 益	26	1,525	54	1,471

次に、臨時損益に移ります。

28行目の不良債権処理額に29行目の償却債権取立益及び
24行目の一般貸倒引当金繰入額を加えた与信関係費用は、
44行目に記載しております通り、前年比357億円改善し△586億円と
なりました。

取引先企業の状況に応じたきめ細かな対応に取り組んできた成果や、回収や返済に
伴い引当金の戻りが一部で発生したことなどが、前年比減少の要因であります。

[三井住友銀行単体]

(金額単位 億円)

		23年度	22年度比	22年度
一 般 貸 倒 引 当 金 繰 入 額	24	438	315	123
臨 時 損 益	27	△ 1,615	877	△ 2,492
う ち 不 良 債 権 処 理 額	28	△ 1,037	40	△ 1,077
う ち 償 却 債 権 取 立 益	29	12	12	—
特 別 損 益	36	△ 33	36	△ 69
う ち 償 却 債 権 取 立 益	39	—	△ 11	11

与 信 関 係 費 用 (24 + 28 + 29 + 39)	44	△ 586	357	△ 943
-----------------------------------	----	-------	-----	-------

(注) 平成23年度より、従来特別損益に計上していた償却債権取立益を、臨時損益に計上しております。

30行目の株式等損益は、33行目の株式等償却の減少により、前年比721億円
改善し、△152億円の損失となりました。

[三井住友銀行単体]

(金額単位 億円)

		23年度	22年度比	22年度
株 式 等 損 益	30	△ 152	721	△ 873
株 式 等 売 却 益	31	206	△ 11	217
株 式 等 売 却 損	32	△ 71	△ 55	△ 16
株 式 等 償 却	33	△ 286	788	△ 1,074

以上により、35行目の経常利益は、前年比996億円増益の6,953億円と
なりました。

42行目の税効果会計による法人税等調整額は、△1,693億円の会計上の費用と
なっております。

以上の結果、43行目の当期純利益は、前年比で568億円増益の
4,780億円となりました。

【三井住友銀行単体】

(金額単位 億円)

					23年度	22年度比	22年度							
経	常	利	益	35	6,953	996	5,957							
特	別	損	益	36	△ 33	36	△ 69							
税	引	前	当	期	純	利	益	40	6,920	1,032	5,888			
法	人	税、	住	民	税	及	び	事	業	税	41	△ 447	△ 23	△ 424
法	人	税	等	調	整	額	42	△ 1,693	△ 440	△ 1,253				
当	期	純	利	益	43	4,780	568	4,212						

【三井住友フィナンシャルグループの連結業績】

次頁には三井住友フィナンシャルグループの連結損益の内訳をお示ししております。

先程申し上げました三井住友銀行の増益を主因と致しまして、

17行目の経常利益は前年比1,101億円増益の9,356億円、

27行目の当期純利益は前年比426億円増益の5,185億円となりました。

【三井住友フィナンシャルグループ連結】

(金額単位 億円)

					23年度	22年度比	22年度						
連	結	粗	利	益	1	25,945	898	25,047					
営	業	経	費	7	△ 14,214	△ 661	△ 13,553						
不	良	債	権	処	理	額	8	△ 1,261	941	△ 2,202			
償	却	債	権	取	立	益	13	48	48	—			
株	式	等	損	益	14	△ 279	640	△ 919					
持	分	法	に	よ	る	投	資	損	益	15	△ 311	△ 178	△ 133
そ	の	他	16	△ 573	△ 588	15							
経	常	利	益	17	9,356	1,101	8,254						
特	別	損	益	18	174	155	19						
う	ち	償	却	債	権	取	立	益	21	—	△ 28	28	
当	期	純	利	益	27	5,185	426	4,759					

与	信	関	係	費	用	(8	+	13	+	21)	28	△	1,213	960	△	2,173
---	---	---	---	---	---	---	---	---	----	---	----	---	----	---	-------	-----	---	-------

(注) 平成23年度より、従来特別損益に計上していた償却債権取立益を、経常利益の内訳科目として計上しております。

【有価証券評価損益】

次に有価証券の評価損益についてご説明致しますので、4頁をご覧ください。

上段に三井住友銀行単体の有価証券評価損益を取り纏めております。

表中の「その他有価証券」の評価損益は、株式は2,285億円のプラス、

債券は1,044億円のプラス、その他も562億円のプラスとなり、

全体では23年3月末比834億円増加の3,890億円のプラスとなりました。

[三井住友銀行単体]

(金額単位 億円)

	24年3月末			
	評価損益			
		23年3月末比	評価益	評価損
その他有価証券	3,890	834	6,726	△ 2,836
株式	2,285	△ 470	4,669	△ 2,384
債券	1,044	325	1,095	△ 51
その他	562	980	962	△ 400

【B I S 自己資本比率】

7頁には、連結自己資本比率について、速報値でお示ししております。

24年3月末の連結自己資本比率は16.93%、23年3月末比では
 その他有価証券の含み益の増加等により、0.30%上昇、

一方、(連結)Tier I比率は12.28%、23年3月末比では
 プロミスの連結子会社化影響を主因に、0.19%低下しております。

[三井住友フィナンシャルグループ連結]

(単位 %)

	24年3月末		23年3月末
	[速報値]	23年3月末比	
連結自己資本比率(第一基準)	16.93	0.30	16.63
Tier I比率	12.28	△ 0.19	12.47

【不良債権の状況】

次に不良債権の状況についてご説明致します。

8頁をご覧ください。

表の左下にございます、金融再生法に基づく開示債権残高の合計額につきましては、
 23年3月末比565億円増加の1兆1,828億円となりました。

また、その右上にお示ししております、正常債権を含めた与信合計に対する
 不良債権比率は、23年3月末比0.05%上昇の、1.86%となりましたが、
 引き続き低い水準を維持しております。

[三井住友銀行単体]

(金額単位 億円)

	24年3月末		23年3月末
		23年3月末比	
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	1,344	△ 40	1,384
危険債権	7,796	948	6,848
要管理債権	2,688	△ 342	3,030
合計(A)	11,828	565	11,263
正常債権	624,936	14,678	610,258
総計(B)	636,764	15,243	621,521
不良債権比率(A/B)	1.86%	0.05%	1.81%

【平成24年度業績予想】

続きまして、平成24年度の業績予想について、19頁をご覧ください。

まず、三井住友フィナンシャルグループ連結の24年度業績予想ですが、

経常利益 は、9,100億円、
当期純利益は、4,800億円、

を、見込んでおります。

また、三井住友銀行単体の業績予想は、

業務純益 は、7,500億円、
経常利益 は、6,000億円、
当期純利益 は、3,800億円、
与信関係費用は、△1,000億円、

を、見込んでおります。

次に、24年度の普通株式1株当たり配当予想ですが、
23年度と同水準の年間100円、うち中間配当を50円とさせていただきます。

【平成23年度実績と平成24年度経営方針】

次の20頁には、平成23年度実績と平成24年度の経営方針をお示ししております。

当社グループでは、中期経営計画における経営目標、財務目標の実現に向け、将来を見据えた施策を着実に実施しました結果、平成23年度は、中期経営計画初年度として、計画を上回る順調な滑り出しとなりました。

まず、戦略施策につきましては、中国をはじめアジアを中心とする新興国の拠点網と人員を拡充したほか、RBSの航空機リース事業の共同買収に合意するなど、グローバル展開を着実に進めました。

銀証連携では、SMBC日興証券において、日本株のグローバル・オファリングに対応する体制整備を完了、また、クロスボーダーM&A業務を強化すべく米国モーリス社と提携を実施するなど、ホールセール証券機能の強化に努めるとともに、証券仲介等におけるSMBCとの連携を一段と強化いたしました。

クレジットカード／コンシューマーファイナンス事業では、プロミス、セディナにおいて、足許の状況を反映し、過払リスクへの抜本的対応を実施するとともに、完全子会社化による経営資源の集中を進め、SMFGグループの来期以降の収益基盤を強化いたしました。

これらの戦略施策を進めました結果、平成23年度の業績は、三井住友銀行におきまして、国際部門を牽引役としてマーケティング部門が前年比117億円の増益となったほか、ポートフォリオ改善により与信関係費用が減少したこと等から、当期純利益は、4,780億円となりました。また、SMFG連結の当期純利益も、5,185億円と、いずれも前年比増益を確保いたしました。

また、中期経営計画の財務目標につきましても、バーゼルⅢ規制完全実施時基準のコアTier I比率が7%台半ばとなりましたほか、海外収益比率も26%へと上昇するなど、25年度の目標達成に向け、着実に歩を進めております。

平成24年度につきましては、下段にお示ししました通り、「プロアクティブな発想・行動で、変化がもたらすチャンスを的確に捉え、中期経営計画の実現に向けて着実に前進」という基本方針に則り、引き続き「クロスセル」、「クレジット・コントロール」、「コスト・コントロール」の「3つのC」を徹底し、グローバル展開と銀証連携を成長ドライバーとして、「戦略事業領域の強化」と「業務戦略を支える確固たる企業基盤の確立」を推進してまいります。

以上で説明を終わらせていただきます。

以上

本資料には、当社グループの財政状態及び経営成績に関する当社グループ及びグループ各社経営陣の見解、判断または現在の予想に基づく、「将来の業績に関する記述」が含まれております。多くの場合、この記述には、「予想」、「予測」、「期待」、「意図」、「計画」、「可能性」やこれらの類義語が含まれますが、この限りではありません。また、これらの記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクと不確実性を内包するものであり、実際の業績は、本資料に含まれるもしくは、含まれるとみなされる「将来の業績に関する記述」で示されたものと異なる可能性があります。実際の業績に影響を与えうるリスクや不確実性としては、以下のよう なものがあります。国内外の経済金融環境の悪化、当社グループのビジネス戦略が奏功しないリスク、合併事業・提携・出資・買収及び経営統合が奏功しないリスク、海外における業務拡大が奏功しないリスク、不良債権残高及び与信関係費用の増加、保有株式に係るリスクなどです。こうしたリスク及び不確実性に照らし、本資料公表日現在における「将来の業績に関する記述」を過度に信頼すべきではありません。当社グループは、いかなる「将来の業績に関する記述」について、更新や改訂をする義務を負いません。当社グループの財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、本資料のほか、有価証券報告書等の本邦開示書類や、当社が米国証券取引委員会に提出した Form 20-F 等の米国開示書類、当社グループが公表いたしました各種開示資料のうち、最新のものをご参照ください。